

防犯サムターン説明書(玄関用)

日本カギ株式会社

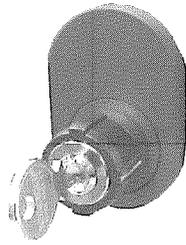
第1版 H15.03.29

防犯サムターンの操作モード説明

室内キーをセーフティサムターンのシリンダーに差し込みキーを縦の位置で抜くと在宅モード、横の位置で抜くと外出モードに切り替えることができます。

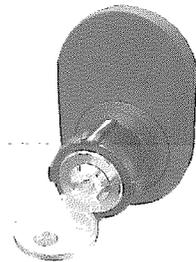
在宅モード

サムターンで
デッドボルト
の動作が行え
る状態



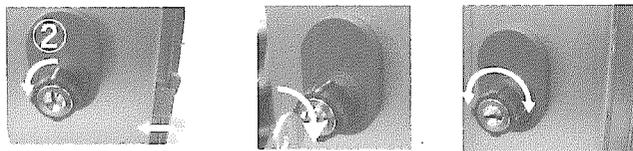
外出モード

サムターンが空
転し、デッドボ
ルトの動作が行
えない状態



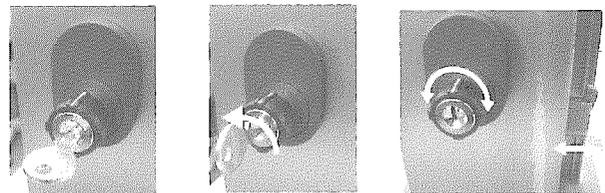
ご利用方法(外出する際)

サムターンを回し解錠状態(扉が開く)にします。(サムターンの緑印は横)
サムターンにキーを差し込み横に回し、抜きます。(サムターンが空転するか確認してください。)
室外側のシリンダーにキーを差し込み旋錠します。
※以上の操作を行うことによりサムターン回し犯罪を防ぐことができます。



ご利用方法(入室した際)

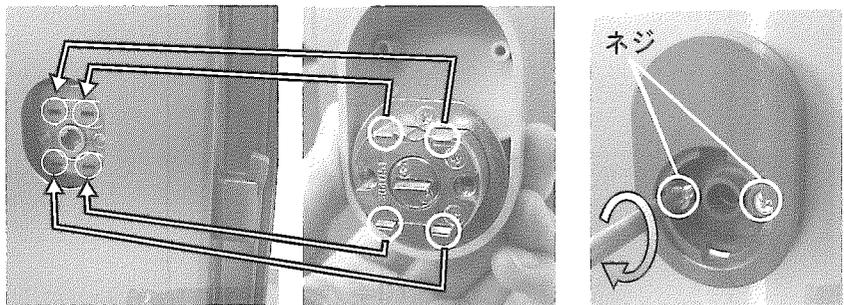
サムターンにキーを差し込み縦に回し、抜きます。
サムターンを回し、サムターンを連結させます。(サムターンが旋解錠できるか確認してください。)
※在宅時は、外出モードにしないてください。



取付説明

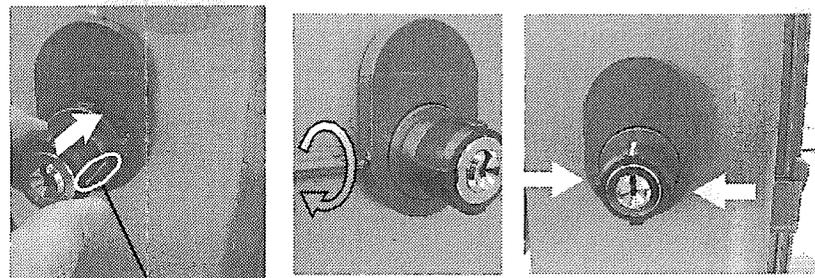
① エスカッションを取付けます。

外部シリンダーを錠箱にセットしてサムターンのエスカッション側から付属のネジで固定します。
※ 締め付けすぎないように注意。



② サムターンを取付けます。

錠箱を解錠状態にしてサムターンユニットのサムターンインジケータを横にして、エスカッションにサムターンユニットを差し込み付属のネジで固定します。
※ 必ず左右2本で固定してください。



インジケータ
(緑色)

付属キーホルダーについて

キーホルダーは、付属の両面シールかネジを使用し扉の近くに取付けます。扉あるいは、扉付近にポストなど開口部が大きなものがある場合は、できるだけ離れた場所に設置してください。
キーとキーホルダー(下部の切欠け)をチェーンなどで繋ぐことをお奨めします。



この度は、当社製品をお買い求めいただきありがとうございます。製品を正しくご使用いただくために、シリンダーの取扱い上の注意事項をよくお読みください。

シリンダー／錠の取扱い上の注意事項

取付をされる業者の皆様へ

本書は必ず御施主様または御入居者様にお渡しくださるようお願いいたします。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

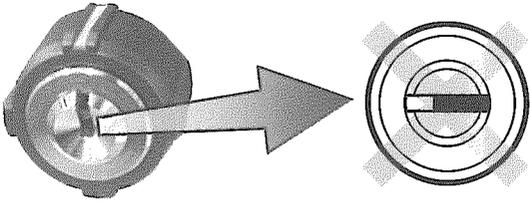
この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示の意味は次のようになっています。内容をよくご理解されてから本文をお読みください。本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店へお求めください。

本書中のマーク説明

 警告	<p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。</p>
 注意	<p>この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。</p>

★ 危険防止のために

 警告	<ol style="list-style-type: none"> 1 在室時、サムターンを外出モードにしないでください。 キーが無いと室外に出られなくなる恐れがあります。 2 室内キーは、ドアの近くに置いてください。 キーが無いと室外に出られなくなる恐れがあります。 	
 注意	<ol style="list-style-type: none"> 1 錠前のデッドボルト等につつからないように気をつけてください。 当たってケガをしたり、衣服をひっかけて転倒したりする恐れがあります。また、ドア付近でのお子様や身体のご不自由な方及びお年寄りが立ち止まったりしないように保護者の方はご注意ください。 2 シリンダー、サムターン、錠本体を足場にしたり、物を掛けたりしないでください。 危険なうえ、不具合、破損の原因となりますので、ご遠慮ください。 3 錠前の受座（ストライク）の穴に指を入れしないでください。 指を切ったりケガをする恐れがあります。 	